

史料群番号 68

| | | | |
|-------|--|------------|-------|
| 史料群名 | かんのほま 神野浜漁業組合文書 | 旧所蔵者 | 神野村役場 |
| 採訪時住所 | 京都府熊野郡神野村 | | |
| 現在の住所 | 京都府京丹後市 | | |
| 採訪年月 | 昭和26（1951）年3月 | | |
| 史料の年代 | 明治36（1903）年～大正10（1921）年 | 史料の 総点数 | 11点 |
| 年代の内訳 | 近代 11点 | 筆写稿本 | なし |
| 既刊行目録 | 「1952年5月 漁業制度資料目録 第6集 全国篇Ⅳ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」 | | |

収蔵にいたる経緯

「漁業制度資料目録 第6集」に「神野村役場文書 旧神野濱漁業組合文書」の目録があって、神野浜漁業組合の史料が、神野村役場に保管されていたことがわかる。その目録に記載されている史料7点は全て、現在中央水産研究所が収蔵している「神野浜漁業組合文書」に含まれている。現在の史料点数は11点だが、これは帳簿などに挟み込まれていた史料を新たに目録に加えたため、採訪時から今日まで、史料の散逸、移動は生じていないと考えられる。

史料群の概要

神野浜は、久見浜湾の奥に位置する。神野村は久美浜湾沿岸の4か村が合併して、明治22年に創立、昭和30年に久美浜町、平成16年に京丹後市となった。
 明治36年「組合員名簿」に、神野浜漁業組合は明治36年に創立したとある。すべて同組合に関連する資料だが、明治43年「専用漁業権免許状」「専用漁業漁場図」、明治44年「漁業組合規約」など、明治期の同地域の漁業を知るための史料が含まれている。

